



ゆくて遥かに

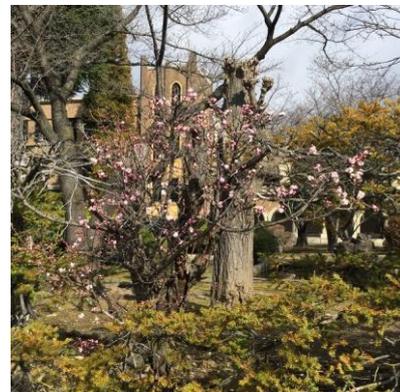
令和2年3月23日(月)

第100号

長野県松本深志高等学校長

令和元年度三学期終業式校長挨拶（3月23日）

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス感染症の予防対策のために学校が臨時休業に入って三週間が経ちました。この間、国内においては市中感染がじわじわ拡大するとともに、WHOにより「パンデミック」が宣言されて、ものすごいスピードで世界中に拡大しています。世界が相互に結びつき、人も物も大量に行き来する時代の、ウイルスの広がり方の速さを見せつけられた思いです。経済活動の停滞も極めて深刻な様相を帯びてきていて、「なかなか出口が見えない」というのが率直な感想です。先の見えない不安の中でみんなが現状に耐えている状況です。



いろいろな噂やデマと呼ばれるようなものも流れてきます。インフォデミックという言葉を知っていますか。病気が広い地域で流行することをエピソード（パンデミックの一段階前の状態）と言いますが、インフォデミックはインフォメーションとこのエピソードを組み合わせた言葉で、不確かな情報が大量に広がり、問題の解決を遅らせるような状況のことを意味します。トイレットペーパーなどが売り切れたり、「ウイルスにぬるま湯が効くらしい」との噂が流れたり、SNSなどでデマや誤った情報が伝わって社会に混乱が起きていますよね。こうした状況においては、適切な情報に基づいて冷静な対応をし続けていくことが重要です。そのためには、「思考停止」ではなく、「自分自身で考え続ける習慣」を身に付けることも大切。自ら調べ自ら考える、そして、科学的根拠に基づいて自らの行動を選択する、という「自治の精神」を、こういう時にも発揮しよう

と意識を持ち続けてほしいと思います。学校としても、今後、状況の変化に応じて、引き続き必要な情報を提供していきます。

そんな厳しい状況のもとではありましたが、3月3日には卒業式を、10日には後期選抜を、そして19日には合格発表を行いました。様々な予防対策を講じながらの実施ではありましたが、無事、終わることができました。新入生は282名、迎える準備も着々と進んでいます。1・2年生の皆さんはどうでしょうか。新年度をスタート

できる態勢は心身ともに整ってきているでしょうか。

3日の卒業式の答辞で卒業生代表の花岡さんは、こんなことを言っていました。

「この濃密な三年間のなかで、私たちが得たものは何であったでしょうか。それぞれに異なる思いがあるかもしれませんが、私はそれを、一生ものの思い出、強い友情、多くの知識、多様な価値観、個性を認め合える土台、そして『考える力』であったと感じています。

『自治』を何より重んじる深志の校風の中で、何かを達成しようとするときはいつでも、自分たちで考え行動する必要がありました。工夫や話し合いを重ねるなかで、何が最も重要なことか、何を改めていくべきかを見極めることが求められ、自らの責任の下で主体的に考える力が身についたのだと思います。今まで当たり前のように感じてしまっていたことですが、この学び舎を卒業しようとしている今改めて、自らを高められる環境で過ごせたことを幸せに、誇りに思います」



卒業生全員が同じ感想を持って卒業を迎えていればいいなあ、と思いながら、この答辞を聞いていました。深志の特徴は、自治の精神、自由な校風、人の多様性、層の厚さ、そして底力、そういったものなのだろうと思います。松本中学から松本深志高校へと受け継がれてきた「自治の精神」は、校則や制服を廃止し、「深志生の良心に問う」という言葉に照らしながら、生徒自身、自由の中で自らを律して、主体的に生きていくことを強く求めてきた歴史です。生徒諸君も実感しているかもしれませんが、自由といい自治といい、それを実現するのはなかなか難しいものです。例えば、自由が人の不自由の上に成り立っているとしたら、それは自由ではなく、単なる自分本位にしか過ぎません。自由と自治は人類普遍の価値であり、いつまでも実現を目指して努力すべきものです。深志高校は、高校において生徒にそのことを求める、自治の「道場」でもあります。多才で多様な校友たちと切磋琢磨しながら、自分自身の人生を、自分自身の選択で切り開いていく、自身の持てる高いポテンシャルを自ら開花させていくところが、深志生の深志生たるゆえんであろうと思っています。もちろん、そのために必要な支援を、私たち教職員は全力で果たしていくつもりです。

高校生というのは、これから何にでもなれる可能性があるけれども、まだ何者でもない、矛盾に満ちた状態です。この期待と不安が入り交じった、矛盾に満ちた状態から、抜け出していかなければいけない時がいずれ来ます。自分の強みや好きはどこにあるのか、自分自身が何をすることによって社会に貢献できるのか、そのために将来自分は何を学ぶのか、どのような職業につくのか、どのように生きていくのか。これからの高校生活の中で、自分の人生を徹底的に考えて、自らの志を立てていく必要があります。そのためにも、高校生活で様々なことを体験して、困難なことにチャレンジするメンタリティを持ち、自分の人生をより深く、より大きく語れるような「人生の構想力」を磨いていってほしいと思います。深志の歴史と伝統という土壌はとても肥沃で、恵まれた環境にあると思いますし、そう思ってもらえるように学校としても努力を続けていかなければと思っています。

もうすぐ、282名の新生が入学してきます。深志を引っ張っていくのは、言うまでもなく皆さんです。そして後輩は、皆さんの背中を見ながら、学んでいきます。どうか、声もかけられないくらい威厳のある輝く先輩であってほしいし、でも同時に声をかけると優しく教えてくれるような先輩であってほしいと思います。

それでは、例年とは異なる環境下ではありますが、それぞれが考えた春休みを事故のないように過ごして、新しい年度にはまた元気な姿を見せてください。

今週の予定（春季休業）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
23	月	臨時休業（終業式・離任式 → 中止）	
24	火	春季休業	
25	水		
26	木	入学予定者オリエンテーション	
27	金		校長会理事会
28	土		
29	日		
30	月	↓ (4/2まで)	

